

平成30年10月1日

各位

山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3  
電話 023-634-4120

## 山形市野草園からのお知らせ



真っ赤な実を付け紅葉し始めたナナカマド (左下の写真は5月に咲いたナナカマドの花の様子)

### 山形市の木 ナナカマド (七竈)

(市制施行 85 周年を記念し、昭和 49 年 7 月 1 日制定された)

山地に自生する落葉高木です。花は白色で大きさは6~10mm、花びらは5枚です。枝の先にたくさんの花を付け、半球状に見えます。葉は奇数羽状複葉といって、1枚が7~15枚の小葉に分かれます。生木は7回かまどに入れても燃えにくいと言われ、この名がつけました。二十四節気の秋分から寒露へと移行行くこの時期、野草園では秋が深まっています。

山形市の木になっているナナカマド。初夏、5月は鮮やかな緑の葉と真っ白な花の対比がきれいでした。10月になり秋色が濃くなっていく中、真っ赤な実と色づきはじめて葉が清々しい青空に鮮やかに映えます。これから、実だけでなく葉も真っ赤に染まっていきます。

北国の山地の代表とも言える紅葉を見せてくれるナナカマド。真っ青な空、真っ赤な木の実、紅葉していく瀧山。いろいろな種類のドングリもたくさん見られます。自然たっぷりの野草園で、素敵な秋の一日を楽しんでみませんか。

## 10月初旬～10月中旬の予定

### ◆『ハーブリース教室』

- 日 時 10/6(土) 10:00～12:00
- 場 所 自然学習センター
- 内 容 ユーカリなどを使ったリース作り、ハーブティーの試飲
- 講 師 佐竹文子 氏 (ハーブライフ&ガーデン)
- 対 象 先着 15人
- 参加費 2,400円(入園料別)
- 申込み 野草園まで TEL 023-634-4120

### ◆『瀧山山麓トレッキング&ハンモック体験ツアー』

- 日 時 10/8(月:体育の日)  
9:30～14:00(受付 9:00～9:30)
- 場 所 野草園から長峰林道まで
- 対 象 小学生以上 先着20人
- 内 容 地元山岳ガイドとともに瀧山山麓をトレッキング  
ハンモックでお昼寝タイム
- 講 師 東北山岳ガイド協会会員 石沢孝浩 氏
- 参加費 一般 2,300円  
高校生以下 1,000円(ガイド料、保険料、入園料込み)
- 服装・持ち物 長袖・長ズボン、登山靴、昼食、飲み物等
- 申込み テレマーク&マウンテンガイド IDEHA  
ホームページ( <http://www.ideha.jp> )より開催日の3日前迄
- 問合せ IDEHA 石沢氏 TEL 090-7067-0667

### ◆『秋の山野草展』

- 日 時 10/12(金)～14(日) 9:00～16:30
- 場 所 自然学習センター
- 内 容 山形山草会会員による山野草鉢植え 約100鉢の展示

### ◆『焼き芋の振舞い』

- 日 時 10/13(土) 14(日) 11:00～なくなり次第終了
- 場 所 「クリンソウの谷」東側(中央広場西側)
- 内 容 各日先着100名に小石を使った本格的な焼き芋を振舞います。  
熱々の味をお楽しみ下さい。

### ◆『家屋新築記念樹交付』

- 日 時 10/13(土) 14(日) 10:00～15:00
- 場 所 料金所裏
- 内 容 家屋を新築され申請した方に、記念樹を交付します。  
ヤマボウシ、ナナカマド等

◆第25回 『野草園の魅力を探る写真コンテスト』入賞作品展

○日時 10/20(土)~11/25(日) 9:00~16:30

○場所 自然学習センター

◆『ガーデニング教室』

○日時 10/21(日) 10:00~12:00

○場所 自然学習センター

○内容 秋から春まで咲き続けるビオラを使ったハンギングバスケット作り

○講師 戎野日出男 氏(花のひこうき 代表取締役社長)

○対象 先着15人

○参加費 3,200円(入園料別)

○申込み 野草園まで TEL 023-634-4120

◆『ガイドウォーキング』

○日時 10/7(日)8(月) 13(土)14(日) 21(日)28(日) ※10月下旬は日曜日のみ

①回目 10:00~11:00

②回目 11:00~12:00

③回目 13:00~14:00

④回目 14:00~15:00

○内容 ボランティアガイドと一緒に野草園内を散策します。申し込み不要。

時間までに自然学習センター入口前にお集まり下さい。

## ★★★この時期、野草園内で見られる花たち★★★



### ノコンギク(キク科)

山野のいたるところに生える多年草で、地下茎をのばしてふえます。茎はよく枝分かれし、短毛が密生し、葉も両面に短毛が生えざらつきます。花は、中心に黄色の筒状花が多数あり、まわりに淡青紫色の舌状花が1列に並びます。特に紫色の濃いものが選別されて、紺菊(コンギク)として観賞用に栽培されています。



### エゾリンドウ(リンドウ科)

福井県以北の山地帯から亜高山帯の草地などに生える多年草です。茎の中程から上部の葉は対生、まれに3枚輪生します。青紫色の花は茎の先や葉の脇につけ、筒状鐘形で5裂します。切り花用に栽培され、さまざまな改良型がみられます。高山型で主として茎頂のみに花をつけるものをエゾオヤマリンドウといいます。



### **エゾヤマリンドウ(リンドウ科)**

エゾリンドウの高山型で、花は茎頂付近にしか付かないのが特徴です。登山道脇、高山の日当たりの良い草原などで見られます。天気が良く、陽光が一杯に当たっていないと開花しないという性質があり、開花しても花卉全体が開くことはありません。草丈は40～50cmです。



### **ミヤギノハギ(マメ科)**

大人の背丈ほどになる落葉低木です。花は長さ1.5cm程になる紅紫色の蝶型花で、葉腋に多く付きます。枝が枝垂れているのが大きな特徴です。葉は3出複葉で、小葉は長さ3cm程の楕円形です。本種はケハギが園芸化されたものであるという説と、逆にケハギはミヤギノハギが野生化したものであるという説があります。



### **ウメバチソウ(ユキノシタ科)**

山地などの湿り気のある日当たりのよい所に生える多年草です。根生葉は長い柄がありますが、中程の葉は円形または腎形で基部は心形となります。数本の花茎を直立し一枚の葉と一個の花をつけます。花茎につく葉は柄がなく茎を抱きます。花は白色で梅の花に似ています。名は、花が梅鉢の紋に似ているからです。



### **ヤクシソウ(キク科)**

山野に普通に生える2年草です。葉は薄く基部で茎を抱き、切ると白い乳液が出ます。枝先に多数の花をつけます。頭状花は全部黄色の舌状花からなり、花期が終わると下を向き、黒っぽい総苞と白い冠毛が目立ちます。名は葉の形が薬師如来の光背に似ることによると言われています。



### **オオミソバ(タデ科)**

水辺に生える1年生草本です。茎の上部は直立し、下向きの刺があります。葉は有柄で互生し、葉身はほこ形、ミソバより大きく毛が多くあります。枝先に白色または淡紅色の小形花をつけます。葉の付け根部分にある托葉が目立ち、葉柄部分に翼があることで見分けがつきます。



### ミヤマダイモンジソウ(ユキノシタ科)

湿気に富む岩地に生える多年生草本です。葉は長い柄があり腎円形で、基部は普通心形となります。裏面は通常白味を帯びますが、ときに暗紅色のものもあります。掌状に浅く7裂し裂片には粗い鋸歯があります。白色の花を開き、花弁は5枚、上の3枚は小さく下の2枚は長く、全体として大の字に似ています。



### クサギ(シソ科)の果実

山野の林縁に生える小高木で、7月に芳香のある白花を多数つけていました。秋になると、美しい実を付けます。濃紅色で星形に開いているのは肥大した萼片、中央に径8mm程の藍色の球果を載せており、鮮やかなコントラストです。



### ムラサキシキフ(シソ科)の果実

山地に生える高さ3m程度の落葉低木です。初夏に紫色の小花を付けていました。秋になると、径3.5mm程の紫色の球果をたくさん付けます。その上品な紫色の実、才女「紫式部」になぞらえた和名の由来となっています。



### マユミ(ニシキギ科)の果実

雌雄異株の落葉低木です。初夏に咲く花は、淡緑色の4弁の小花なので目立ちません。秋になると、ピンク色の果実が枝にぶら下がるようにして付きます。その形は、小さく角ばった4裂の姿で、中から赤橙色の仮種皮に包まれた種子が顔を出します。これはニシキギ科の特徴です。



### サンショウ(ミカン科)の実

枝にはトゲがあり、羽状複葉の葉が独特の香りを持つ、山地に自生する高さ1~3mの落葉低木です。雌雄異株で、春に目立たない淡黄緑色の小花を咲かせます。雌株の花の後には径5mm程の果実ができて、赤く熟します。果実は佃煮にしたり、粉末にして香辛料として利用したりします。雌雄異株なので、雄株には実がありません。